



サーバス九州

日本サーバス九州支部会報 No.159 2014年2月27日発行 支部長 緒方智子

2014年、新年も春節も過ぎ、梅の花が満開の季節になりました。サクラの蕾もずいぶん膨らんできました。近所の土手のカワズサクラももうそろそろでしょう。やっぱり春は弾みますね。

さて、サーバスです。サーバス九州支部会報159号(2014,2月号)をお届けいたします。2月号には以下の内容を載せています。

- 1 2013年度九州来訪トラベラー
- 2 トラベラー受け入れ報告
- 3 来訪トラベラーから
- 4 シリーズ世界一周の旅ーその2ー
- 5 支部会議のご案内
- 6 サーバス九州現況
- 7 サーバス九州連絡先等(常掲)

1. 2013年度 九州来訪トラベラー

みなさんにいただきました報告をもとに日本サーバスへの報告も兼ねて以下の表を作成しましたので掲載します。ご参考までに。間違いはご容赦を。

ホスト名	国名	人数	名前	備考
1 A	Sweden	2	M. H, T. V	
2 B	Austria	1	S. J	
3 C	Holland	1	L. L	
4 D	Korea	4	I. K, Go & I	
5 E	Korea	1	A	
6 F	Korea	2	H. L, M. S	
7 G	France	1	H. B. X	
8 H	USA	1	T. M	
9 I	France	2	B' s parents	
10 J	Korea	2	Mr. & Mrs L	
	Hungry	2	K. M & I	
11 K	Korea	2	Mr. & Mrs. C	
	Korea	2	Mr. & Mrs. De	
	Korea	1	K. B	

12 L	Australia	2 Day host	
13 M	Korea	2 Mr. & Mrs. Kim	12番と同じ方
14 N	Germany	1	名前不明
15 O	Korea	1	名前不明
	0	Sweden	1 M. H
			1番と同じ方
	P	Korea	2 Mr. & Mrs. De
	P	Korea	2 Mr. & Mrs. C
17 Q	France	2 B' s parents	11番と同じ方
17 R	France	2 B' s parents	11番と同じ方
18 S	Germany	1 E. S	9番と同じ方
	S	Austria	1 J. S
	S	Sweden	2 M. H, T. V
	S	Korea	2 L. Hum, B. G
19 T	Hungry	2 M, I	9番と同じ方
			10番と同じ方

受け入れ、ありがとうございました。報告・体験等をぜひ、お寄せください。
パソコンメールでも携帯メールでも構いませんので、普通にメールを書く要領でお送りください。
(アドレスはあとがきに記しています)

最近はトラベラーも少しずつ増えてきているようで何よりです。「居ながらにして楽しむプライベートな国際交流」、「一つ屋根の下の国際交流」をどうぞお楽しみください。異文化理解と多様性の受け入れがサーバスの理念ですし、平和の礎だと思います。

2. トラベラー受け入れ報告

韓国のご夫妻 Lさん、Kさん

福岡 T会員

11月16日、17日の秋例会、大分竹田の竹楽祭りと長湯温泉に韓国サーバスメンバーも多数参加されました。その中の一組のご夫婦が帰国する前の1日我が家に来られました。1日弱の短い滞在でしたが、夕食時にはいろいろな話題で盛り上がりました。

1996年から2年間Lさんの仕事と勉強の関係でフランスに住んでいたそうです。お酒も回りLさんは得意の喉でクラシックの歌を歌い、大分の例会で菅さんが韓国語で歌われた歌をご夫婦で歌ってくれました。お二人とも教会の合唱団に属しているそうです。例会で日本の女性メンバーがチマチョゴリを着て、韓国の女性が着物を着て写っている写真を見せてもらいました。皆さん楽しそうに写っていました。

何百年も前、日本と韓国は仲が良かったそうです。韓国には“自分の従妹より、兄弟よりも近所の人を大事にする”と言う言い伝えがあるそうです。そう言えば日本にも“遠くの親戚より近くの他人”という言葉があります。Lさんもお互い仲良くしていきたいと言われていました。日韓の首脳会議がなかなか開催されないようです。サーバスの会員同士が時々交流し民間レベルで友好関係を築いていく事が出来るのではないのでしょうか。

(この報告は12月にいただいていたのですが、紙面の都合でご本人の承諾を得て、今号に回らせていただいていたのですが、ちょっと時期が遅れたことお詫びいたします)

3. 来訪トラベラーから

ハンガリーからのトラベラー(ジャーナリスト) から訪問を約束していたのに伺えなかったお詫びも兼ねてのメールをいただきました。来訪トラベラーがどんなところで困っているか、気候と人々の生活など考えさせられる点を含んだお礼のメールでしたのでここにご紹介します。

Dear O. T. San,

we wish you all the best and want to thank you once again for your support while we were traveling in Japan. Starting the journey and starting the new year in Kyushu was a pleasure for us.

Please accept our excuses that we could not come to visit you, even though we would have liked very much to do so.

Let us tell you a bit about our traveling in Japan, so that you may understand us:

While we were traveling in Japan we had no access to internet and no mobile phone. When we left Europe we did not expect this to happen. But as a matter of fact: our mobile phone did not work in Japan and we could not manage to get a japanese one. Wherever we were traveling in most places people expected us to carry our own computer - but we did not. We could have used wifi to connect our own computer with the internet. Instead of this we were traveling without electronic equipment and also enjoyed to be a bit in peace. Arriving in Kyushu at the end of November, we had to learn that it was not only very cold in Japan, but also the houses were very different to the houses in Vienna or Hungary. It was nearly as cold inside the house as it was outside. No insolation, no double glass windows, heating with small kerosine ovens or electric appliances. We felt very cold for the first nights and decided to travel further south.

In Yoron-to, Okinawa and Iriomote it was finally warm enough for us and we spend more than a week down there. This caused our original traveling plans to change. We had to cancel a couple of visits, which we did not light heartedly.

Please feel invited to visit us in Hungary or be day-hosted by us in Vienna / Austria. We would be glad if our paths could cross.

これに対する返事として、日本の携帯電話システムが世界の多くの国で採用されているシステムと異なっていること(世界の各地では現地でプリペードのSIMカードをコンビニやキオスクなどで購入し、自分の携帯にそれを挿入すると該当国内で自分の携帯電話を自由に使用できるが、日本の携帯システムとは大きく異なっているため、今のところ使用不可)、さらに、田舎ではイン

ターネットカフェやw i f i 接続可能な場所が見つげにくいこと、また、公衆電話の数も大幅に減っていて連絡を取るのが困難であること、などに理解を示すと同時に、温帯モンスーン地帯に属する九州では家の構造を「夏」を考えて建てることが多く、気密性がそんなに保たれていないこと、そういう中での全館暖房は効率的ではないことなどを書いて返信してみました。こちらの事情も説明した方がいいかな、と書いて・・・。再度返事もいただき結構楽しみました。こういう率直な意見交換ができるのがまたサーバスのおもしろさかな、と思った次第です。(T)

4. シリーズ「世界一周の旅」(その2「旅の1日目」)

熊本 T 会員

私たちが最初に選んだ旅行先は福岡から近い台北でした。なぜ台北を選んだかと言えば、カトマンズへの乗り換え空港の一つだったからです。福岡→成田→香港→カトマンズよりも、福岡→台北→香港→カトマンズのルートを選びました。世界一周の航空券は、いくつかの加盟社の飛行機を組み合わせ利用します。だから選ぶ航空会社でルートが変わってくるのです。

私たちが利用した One World のチケットは全16区間の飛行機が利用できます。私たちが購入した世界一周航空券での移動内容は以下の通りです。

福岡→①台北→②香港→③カトマンズ⇒④デリー→⑤アンマン⇒⑥マドリード→⑦リオ→⑧クスコ→⑨リオ→⑩メキシコシティ→⑪ダラス→⑫ジャクソン・ホール→⑬ダラス→⑭ホノルル→⑮成田→⑯福岡

この中で⇒の部分は陸路、または途中で旅行会社から片道の航空券を買ったりして移動した部分です。陸路ではバス、列車、船を利用しました。

では話を戻します。

台北の空港に到着後はバスで台北駅前へ移動。今までに数回訪れている台北なので移動はスムーズでした。駅到着後は笑顔で到着記念の撮影をしました。それから重い荷物を降ろすために予約している台北駅から徒歩5分のホテル探し。しかしその後、このホテルを探すのに駅周辺を2時間も彷徨うことになりました・・・。これは全て私の準備不足。ホテルの住所は控えていたのに、地図を準備していなかったことが原因でした。

私たちはそれぞれ23kgのバックパックと7kgくらいのデイバックを持っていました。それを抱えて道行く人に場所を尋ねたり、番地を確認したり。しかしなかなか見つかりません。結局は大きなホテル横のオフィスビル内にあつたのですが、これで大分体力を消耗してしまいました。

私たちの宿泊先は「ニーハオ @ タイペイ」。agoda のサイトからネット予約しました。ドミトリーもあるようでしたが私たちは二段ベッドのある個室を選びました。宿泊費は2人で5000円くらいです。部屋は狭いですがモダンなデザインで綺麗なお部屋でした。鍵付きロッカー、テーブルとソファが付いています。トイレとシャワーは共同ですがまあ問題ありません。ホテルの方も親切でチェックアウト後も荷物を預かってくれたりしました。結構若い人の利用が多いようでした。

重い荷物から開放され早速、「鼎泰豊」(デンタイフォン)へ。ここは台湾で有名な小籠包のお店です。一階ではいくつにも重なった小籠包たちがモクモクと湯気を上げて蒸されていて、注文するとすぐに運ばれてきます。台湾ビールで乾杯し、おいしい小籠包で旅1日目を祝福しあいました。

昼食を終えると外はもう夕方でした。旅行初日で買い物はあまり出来ませんが近くのお茶やさ

んで中国茶を見たり（中国茶大好きなので買えないのが残念でした！）、大好きはタピオカ入りのミルクティーを買ってみたり。夜にはホテル近くの足つぼマッサージを受けて帰りました。

また働き始めた今振り返ると、もっと一週間くらいかけて台湾一周でもしたら良かったな～と思いますが、この時の台北滞在はたった一泊のみ。あつという間でした。きっとこの時、まだ行ったことの無いインドや中東、ヨーロッパに気持ちが向いていたのだらうと思います。

さて、こんな慌しい旅の1日目でしたが翌日に私たちがしたことは何だったでしょう？答えは～、朝一で台北駅の地下街へ荷物用のカートを購入しに行ったことです。初日に2時間も荷物を持って歩き回ったことで、もう二度と荷物を担ぎたくないという思いにかられてしまったのです。このバックパック、実は新品でした。旅行前にいろいろなブログや本を読んで長期旅行に適したバックを検討し、8対2くらいでバックパックが便利（私が読んだ意見の中では）とあったので購入したのですが私としては失敗でした（2万円くらいしたのに！！）。まだ体力のある20代とかであれば良いかも知れませんが、アラフォーの私には重い荷物を担ぐ体力はありませんでした・・・。

この後、1000円くらいで購入したこのカートが大活躍。カトマンズ、インド、エジプトなど道の条件はどうだろうと思いましたが、道が凸凹で使用できないということはありませんでした。また途上国での移動は安いタクシーやトゥクトゥクを利用するので荷物を自分で運ぶ機会は少なかったです。むしろヨーロッパでの電車移動の時に役立ちました。

持っていった荷物については、役に立ったもの、これは必要なかったものなどいろいろありました。もしご希望があれば改めて長期旅行に適した荷物についても説明します。

さて、新しく購入したカートにバックパックを括り付けて、バスで空港へ移動。この後は香港乗換えで夜にはカトマンズ到着です。未だ足を踏み入れたことのないネパールへの期待が高まります。しかし、その後も私たちの旅は順調には進んでくれませんでした。その話については、次の機会に・・・。

5. 支部会議のご案内

定例の支部会議を下記要領で開催いたします。改めてまた、メールを差し上げますが、ぜひ、予定に入れてください。みなさんの意見をお聞きして来年の活動計画を立案します。ご出席を！

期日： 2014年 4月 20日（日） 13時30分～ 今年は日曜日です！！

会場： 西南大学コミュニティセンター2F会議室

日程： 13:30～13:50： 受付・団らん（コミュニティセンター2F会議室）
14:00～15:00： ミニ講演：「私のサーバス人生」 話す人 佐賀 N.M会員
15:00～16:30： 支部会議
17:00～19:30： 夕食・懇親会（近くのお食事処で行います。場所は検討中です）

費用： 夕食・懇親会（ドリンクを含む）一人2,500円

行き方：地下鉄：「西新」（nishijin）駅で下車。3番出口が便利
バス：修猷館前下車

駐車場 :3台は大学構内の駐車場に駐車可。1台は事務局用。残り2台分は遠方の方がお使いください。(事前に緒方に連絡をお願いします)

他は申し訳ありませんが、近くの有料駐車場をご利用ください。

参加申し込み：支部長宛、お申込みください。会場準備の都合もありますので、4月10日までに最終確認をしたいと思います。懇親会参加の可否を含めてご連絡ください。時が近まりましたらあらためて連絡を差し上げます。

*2014年の活動計画案にサーバス組織があるアジアの旅行を入れてはどうかという案が出ています。これも検討したいと思いますので、ぜひ、ご意見をお聞かせください。

6. サーバス九州現況

サーバス九州現況 (2014年2月27日現在)

会員数 59 家族

<内訳：大分 15、熊本 6、佐賀 4、長崎 10、福岡 13、宮崎 11>

新しいメンバーです！！ (すべてホストリストに掲載されていますので、住所は割愛)

O.M さん：福岡の T.N 会員の紹介です。北九州市在住です。

ワイン・韓国語がお得意だそうです。

F.K さん： イタリア留学中にサーバス会員宅にホームステイされていたそうです。

イタリア語が堪能です。大分市在住

T.J さん： 長崎県在住。中学校教師を退職され、アメリカに留学。5年間在住でした。英語が堪能です。これまでもサーバストラベラーのお世話をお手伝いしてくださっていました。

S.K さん： 宮崎の N.S さんの紹介で入会された大学生です。

K.A さん： 同じく N.S さんの紹介で入会された学生さんです。お二人とも外国への関心が高く、意欲的です。

九州でもサーバスユースのメンバーが増えそうで心強いです。

残念ながら、今回、高齢、介護、結婚等の理由で以下の方がサーバスを離れられました。

福岡：Y さん、大分：T さん、I さん、佐賀：F さん、熊本：K さん 宮崎：I さんです。

今までのご活躍・ご協力に感謝いたします。また、いつか機会がありましたらドアをたたいてください。

尚、大分の K さんは大所帯になり、しばらくサーバスの活動をおやすみされるそうです。

福岡の T.A さんは仕事の都合で熊本に異動されました。